

## 第16回 東京外環トンネル施工等検討委員会 議事概要

### ■ 第16回検討委員会：平成30年5月23日

#### 【議題】

- ・大泉JCT Fランプ分岐部の設計について
- ・東名JCT 地中拡幅部の設計について
- ・本線シールド工事（東名発進）の掘進状況について
- ・東京外環（関越～東名）沿線の地質状況等について

#### 【議事概要】

- ・大泉JCTにおける本線とランプの分岐部（地中切り開き部）における詳細設計について報告があり、地中切り開き部の施工モニタリング方法は妥当であることを確認した。
- ・東名JCT地中拡幅部の追加地質調査結果及び詳細設計について報告があり、地中拡幅部周辺に分布している沖積層は圧縮性の高い有機質土層ではないことと、地中拡幅部周辺の北多摩層は介在砂層が連続して地中に存在する可能性は低く、難透水性の粘性土層であることを確認した。また、追加地質調査結果を踏まえた地中拡幅部における施工手順の妥当性及びランプシールドと地中拡幅工事の施工モニタリング計画の方針について確認した。
- ・本線シールド工事（東名発進）の掘進状況について報告があり、トンネル坑内の各計測値に異状はなく安全に工事を進めていることを確認した。  
また、東名JCT周辺の野川水面で観察された気泡について報告があり、その原因として、シールド工事で用いる空気の一部がわずかな地面の隙間を通じて地上に漏出しているものと考えられることを確認した。
- ・東京外環沿線の地質状況や土地利用の変遷と中央JCT地中拡幅部の地質状況について報告があり、詳細な解析のための地質調査の追加実施の必要性を確認した。また、地質状況を踏まえ、南側、北側の地区毎の一貫した施工監理やモニタリング等の技術検証の必要性及びそのための南側の地質性状の把握の必要性を確認した。

以上